



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 理想科学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6413 URL <https://www.riso.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 羽山 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 池嶋 昭一

TEL 03-5441-6611

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画(録画)を配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	30,191	24.1	574		454		469	56.1
2020年3月期第2四半期	39,754	0.8	2,108	21.9	2,003	20.8	1,068	21.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 570百万円 (27.9%) 2020年3月期第2四半期 790百万円 (52.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	13.53	
2020年3月期第2四半期	30.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	75,842	57,925	76.4
2020年3月期	80,224	57,876	72.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 57,925百万円 2020年3月期 57,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		15.00	15.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	63,900	18.1	400	84.3	500	79.5	300	8.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	47,406,332 株	2020年3月期	47,406,332 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	12,699,241 株	2020年3月期	12,699,181 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	34,707,126 株	2020年3月期2Q	35,554,964 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法)

「2021年3月期第2四半期決算説明会」は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大などの状況を受けて、2020年11月12日(木)にオンデマンド方式での動画(録画)配信にて公開を予定しています。説明に使用する決算説明会資料についても、同日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2022年3月期を最終年度とした第七次中期経営計画(RISO Vision 22)を策定し、『インクジェット事業を拡大すると同時に、グループ全体の効率改善をすすめ、利益体質を強化する』を中期的な経営目標に掲げて運営してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の四半期毎の推移は次のとおりです。第1四半期は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大の影響を受け売上高は134億5千5百万円、営業利益は6億7千8百万円の営業損失となりました。第2四半期も引き続き新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受けましたが、第1四半期に比べ販売が増加し売上高は167億3千5百万円、営業利益は1億4百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は301億9千1百万円(前年同期比24.1%減)、営業損失は5億7千4百万円(前年同期は21億8百万円の営業利益)、経常損失は4億5千4百万円(前年同期は20億3百万円の経常利益)となりました。受取和解金、雇用関連の助成金収入などを特別利益に計上したこと、過年度法人税の還付を受ける見込みとなったことなどから親会社株主に帰属する四半期純利益は4億6千9百万円(前年同期比56.1%減)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1米ドル106.92円(前年同期比1.71円の円高)、1ユーロ121.30円(同0.12円の円高)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

①印刷機器事業

当社グループは、印刷機器事業として、高速カラープリンター「オルフィス」を主としたインクジェット事業とデジタル印刷機「リソグラフ」を主とした孔版事業を行っております。

印刷機器事業の売上高は、295億9千3百万円(前年同期比24.3%減)となりました。営業損失は8億1千9百万円(前年同期は18億3千4百万円の営業利益)となりました。

日本

インクジェット事業、孔版事業ともに売上が前年を下回りました。売上高は167億6千8百万円(前年同期比25.2%減)、営業損失は1億9千7百万円(前年同期は18億9千9百万円の営業利益)となりました。

米州

インクジェット事業、孔版事業ともに売上が前年を下回りました。売上高は13億7千2百万円(前年同期比43.8%減)、営業損失は4億9千3百万円(前年同期は4億3百万円の営業損失)となりました。

欧州

インクジェット事業、孔版事業ともに売上が前年を下回りました。売上高は48億3千3百万円(前年同期比29.8%減)、営業損失は2億9千1百万円(前年同期は3百万円の営業利益)となりました。

アジア

インクジェット事業、孔版事業ともに売上が前年を下回りました。売上高は66億2千万円(前年同期比10.0%減)、営業利益は1億6千3百万円(同51.2%減)となりました。

②その他

当社グループは、印刷機器事業の他、不動産事業とプリントクリエイティブ事業を行っております。

その他の売上高は5億9千7百万円(前年同期比10.7%減)、営業利益は2億4千5百万円(同10.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

総資産は43億8千2百万円減少し758億4千2百万円となりました。また、純資産は4千9百万円増加し579億2千5百万円となりました。

主な増減内容は、資産の部では、現金及び預金16億2千7百万円が増加し、受取手形及び売掛金29億4千5百万円、有価証券26億9千9百万円がそれぞれ減少しました。負債の部では、支払手形及び買掛金29億2千万円、短期借入金2億3千2百万円、賞与引当金1億7千6百万円がそれぞれ減少しました。純資産の部では、利益剰余金5千1百万円が減少し、為替換算調整勘定5千2百万円、退職給付に係る調整累計額5千3百万円がそれぞれ増加しました。

この結果、自己資本比率は4.3ポイント増加し76.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果獲得した資金は14億5千7百万円(前年同期比23.3%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億6百万円、減価償却費18億1千1百万円、売上債権の減少額29億6千6百万円、たな卸資産の減少額6億8千1百万円、仕入債務の減少額29億9千2百万円、未払金の減少額6億2千2百万円によるものです。

投資活動の結果支出した資金は14億7千5百万円(同165.3%増)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出6億円、有形固定資産の取得による支出16億7千6百万円、無形固定資産の取得による支出1億5千3百万円、定期預金の払戻による収入9億2千8百万円によるものです。

財務活動の結果支出した資金は8億1百万円(同73.9%減)となりました。これは主に、短期借入金の減少額2億2千8百万円、配当金の支払額5億2千1百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年9月24日に公表した業績予想及び2020年5月15日に公表した配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

①業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	—	—	—	—	—
今回予想(B)	63,900	400	500	△300	△8.64円
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	78,066	2,543	2,440	683	19.38円

修正の理由

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響を受け、第1四半期は6億7千8百万円の営業損失となりましたが、第2四半期は1億4百万円の営業利益を計上しました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響は今後も継続すると想定しておりますが、第3四半期以降も収益の向上を見込んでおり、通期の業績予想を修正しました。

業績予想における想定為替レートは、1米ドル105円、1ユーロ120円としております。

なお、「重要な後発事象」に記載のとおり、当社連結子会社である理想（中国）科学工業有限公司において、成長を持続し効率的に会社を運営するための組織の再編とスリム化を実施し、利益体質の強化を図ります。これに伴い、2021年3月期に特別損失約13億円の計上を予定しております。

②配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (2020年5月15日発表)	—	0.00	—	0.00	0.00
今 回 予 想	—	—	—	15.00	15.00
当 期 実 績	—	0.00	—	—	—
前 期 実 績 (2020年3月期)	—	0.00	—	15.00	15.00

修正の理由

当社は、株主に対する利益の配分について、以下の2点を「基本方針」としております。

- (1) 企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うこと。
- (2) 安定配当の継続に努めること。

2020年5月15日の期末配当予想は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の影響により、業績が悪化するとの見通しから無配としておりました。

今回の通期業績予想では、当社連結子会社の構造改革実施に伴う特別損失約13億円の計上を予定していることから、親会社株主に帰属する当期純利益は3億円の損失を見込んでおります。しかし第3四半期以降は収益の向上を見込んでおり、通期では営業利益4億円、経常利益5億円と予想しております。そのため、当期の期末配当予想を前回予想の無配から1株当たり15円に変更します。

(4) 研究開発活動に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は23億3百万円です。研究開発活動は主に印刷機器事業によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,019	14,647
受取手形及び売掛金	13,236	10,290
有価証券	2,700	0
商品及び製品	8,450	8,177
仕掛品	870	828
原材料及び貯蔵品	1,946	1,634
その他	2,089	2,101
貸倒引当金	△286	△305
流動資産合計	42,027	37,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,967	22,433
減価償却累計額	△14,036	△14,237
建物及び構築物(純額)	6,931	8,196
機械装置及び運搬具	6,932	6,946
減価償却累計額	△5,736	△5,849
機械装置及び運搬具(純額)	1,196	1,096
工具、器具及び備品	14,356	14,406
減価償却累計額	△13,522	△13,385
工具、器具及び備品(純額)	833	1,020
土地	17,641	17,641
リース資産	518	483
減価償却累計額	△271	△271
リース資産(純額)	246	211
建設仮勘定	1,144	35
その他	10,840	10,759
減価償却累計額	△7,586	△7,582
その他(純額)	3,254	3,177
有形固定資産合計	31,249	31,380
無形固定資産		
ソフトウェア	979	889
その他	101	134
無形固定資産合計	1,080	1,023
投資その他の資産		
投資有価証券	1,145	1,134
長期貸付金	17	16
繰延税金資産	1,705	1,873
その他	3,004	3,044
貸倒引当金	△4	△6
投資その他の資産合計	5,867	6,063
固定資産合計	38,197	38,466
資産合計	80,224	75,842

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,618	6,697
短期借入金	825	593
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	132	334
賞与引当金	1,766	1,590
製品保証引当金	54	27
その他	7,419	6,119
流動負債合計	19,818	15,363
固定負債		
長期借入金	12	12
退職給付に係る負債	1,759	1,856
その他	757	684
固定負債合計	2,530	2,552
負債合計	22,348	17,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	50,573	50,522
自己株式	△20,074	△20,074
株主資本合計	59,393	59,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	18
為替換算調整勘定	△1,231	△1,179
退職給付に係る調整累計額	△309	△255
その他の包括利益累計額合計	△1,517	△1,416
純資産合計	57,876	57,925
負債純資産合計	80,224	75,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	39,754	30,191
売上原価	16,873	13,383
売上総利益	22,880	16,808
販売費及び一般管理費	20,772	17,382
営業利益又は営業損失(△)	2,108	△574
営業外収益		
受取利息	64	56
受取配当金	29	30
その他	87	83
営業外収益合計	180	170
営業外費用		
支払利息	38	22
為替差損	213	3
固定資産除却損	8	16
その他	25	9
営業外費用合計	285	51
経常利益又は経常損失(△)	2,003	△454
特別利益		
受取和解金	—	339
助成金収入	—	336
顧客権譲渡益	—	85
特別利益合計	—	761
特別損失		
投資有価証券評価損	329	—
解体撤去費用	58	—
減損損失	51	—
特別損失合計	440	—
税金等調整前四半期純利益	1,563	306
法人税等	494	76
過年度法人税等戻入額	—	△240
四半期純利益	1,068	469
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,068	469

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,068	469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	286	△5
為替換算調整勘定	△591	52
退職給付に係る調整額	27	53
その他の包括利益合計	△277	100
四半期包括利益	790	570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	790	570
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,563	306
減価償却費	1,935	1,811
減損損失	51	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47	170
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	19
受取利息及び受取配当金	△93	△87
支払利息	38	22
為替差損益(△は益)	38	26
受取和解金	—	△339
助成金収入	—	△336
顧客権譲渡益	—	△85
投資有価証券評価損益(△は益)	329	—
解体撤去費用	58	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,020	2,966
たな卸資産の増減額(△は増加)	23	681
仕入債務の増減額(△は減少)	△996	△2,992
未払金の増減額(△は減少)	△1,041	△622
未払消費税等の増減額(△は減少)	△176	9
その他	△1,354	△869
小計	2,450	680
利息及び配当金の受取額	92	86
利息の支払額	△38	△23
和解金の受取額	—	339
助成金の受取額	—	319
法人税等の支払額	△604	△289
法人税等の還付額	—	343
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,900	1,457
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△631	△600
定期預金の払戻による収入	978	928
有形固定資産の取得による支出	△714	△1,676
有形固定資産の売却による収入	11	15
無形固定資産の取得による支出	△206	△153
貸付金の回収による収入	1	0
その他	5	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556	△1,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	119	△228
長期借入金の返済による支出	△0	△0
自己株式の取得による支出	△999	—
配当金の支払額	△2,144	△521
その他	△50	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,075	△801
現金及び現金同等物に係る換算差額	△335	45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,067	△773
現金及び現金同等物の期首残高	18,545	14,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,478	14,072

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報) (新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響に関する会計上の見積り) に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	印刷機器事業	その他	調整額	合計
売上高				
外部顧客への売上高	39,084	669	—	39,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	39,084	669	—	39,754
セグメント利益	1,834	273	—	2,108

- (注) 1. その他には、不動産事業及びプリントクリエイティブ事業が含まれております。
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 印刷機器事業の地域別の内訳は下記のとおりであります。

(単位:百万円)

	印刷機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア	計
売上高	22,402	2,443	6,886	7,352	39,084
営業利益又は損失(△)	1,899	△403	3	334	1,834

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	印刷機器事業	その他	調整額	合計
売上高				
外部顧客への売上高	29,593	597	—	30,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	29,593	597	—	30,191
セグメント利益又は損失(△)	△819	245	—	△574

- (注) 1. その他には、不動産事業及びプリントクリエイティブ事業が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。
3. 印刷機器事業の地域別の内訳は下記のとおりであります。

(単位:百万円)

	印刷機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア	計
売上高	16,768	1,372	4,833	6,620	29,593
営業利益又は損失(△)	△197	△493	△291	163	△819

（重要な後発事象）

（連結子会社における構造改革の実施）

当社グループは、2020年11月5日開催の当社取締役会及び連結子会社である理想（中国）科学工業有限公司の董事会において、当該連結子会社の構造改革実施を決議しました。

1. 目的

理想（中国）科学工業有限公司の利益体質強化。

2. 構造改革の実施概要

成長を持続し効率的に会社を運営するため、組織の再編とスリム化を実施し、利益体質の強化を図ります。

3. 今後の見通し

理想（中国）科学工業有限公司の構造改革実施に伴う一時費用として、2021年3月期に特別損失約13億円の計上を見込んでおります。